

地域密着型で質の高い医療を目指して

いりょうほう じんしゃ だん ゆう あい かい さい せいびょう いん
医療法人社団 有相会 最成病院

設立:1986年3月 従業員数:484人

千葉市花見川区柏井町800-1
TEL 043-258-1211 / FAX 043-258-2121
<https://www.saisei.or.jp/>



▲ホームページ

☐ 交流授業

☒ 職場見学

☒ 個別質問



こんな仕事をしています。

12種類の診療科を持ち、急性期から在宅まで質の高い医療を提供する、医療介護連携に強みを持つ病院です。骨折などの外傷やがんなどの手術を行った後は、回復の状況に合わせてリハビリテーション(リハビリ)も行います。「いつまでも住み慣れた地域で過ごしたい」という患者さんのニーズに応えるため、ヘルスケアセンター、訪問看護ステーション、介護医療院などと連携しています。また外科系を中心に、市内で急増する救急搬送患者の受け入れにも積極的に対応しています。



働く人にインタビュー

患者さんに手術前後の処置や検温をしています。心穏やかに入院生活が送れるよう、相手の気持ちに寄り添って考えることを大切にしています。スタッフが総力を挙げて行ったケアの成果が出て、元気になった患者さんの笑顔が見られると、とてもやりがいを感じます。

看護師 ひけ はつみ
比毛 初実 さん



患者さんの食事や排せつの介助などを行っています。療養中の率直なお悩みをお聞きする機会も多く、それだけ身近な立場として関われるのも良いところです。動けない状態で運ばれてきた方が、手術や治療を経て元気になった姿を見ると、人間の回復力の高さを実感します。

ケアワーカー かわさき みか
川崎 光夏 さん



例えば…
こんな人に向いています

- 諦めないで最後まで頑張れる人
- 人のために何かをしてあげたいと思える人
- 相手の立場に立って物事を考えられる人



急性期から在宅まで

「急性期」とは、病気になり始めた時期のことです。健康状態が急に悪化したとき、患者さんは救急車で病院に運ばれます。症状に応じて検査や処置を行い、必要があれば入院となります。



急性期

健康状態が悪化し救急車で病院へ



検査および処置

血液検査やレントゲン撮影



入院

急性期の病棟に入院



回復期

症状が落ち着き、リハビリが必要な時期



在宅医療

医師が患者さんの家に行き、診察・検査を行う



帰宅

入院の必要がなければ帰宅

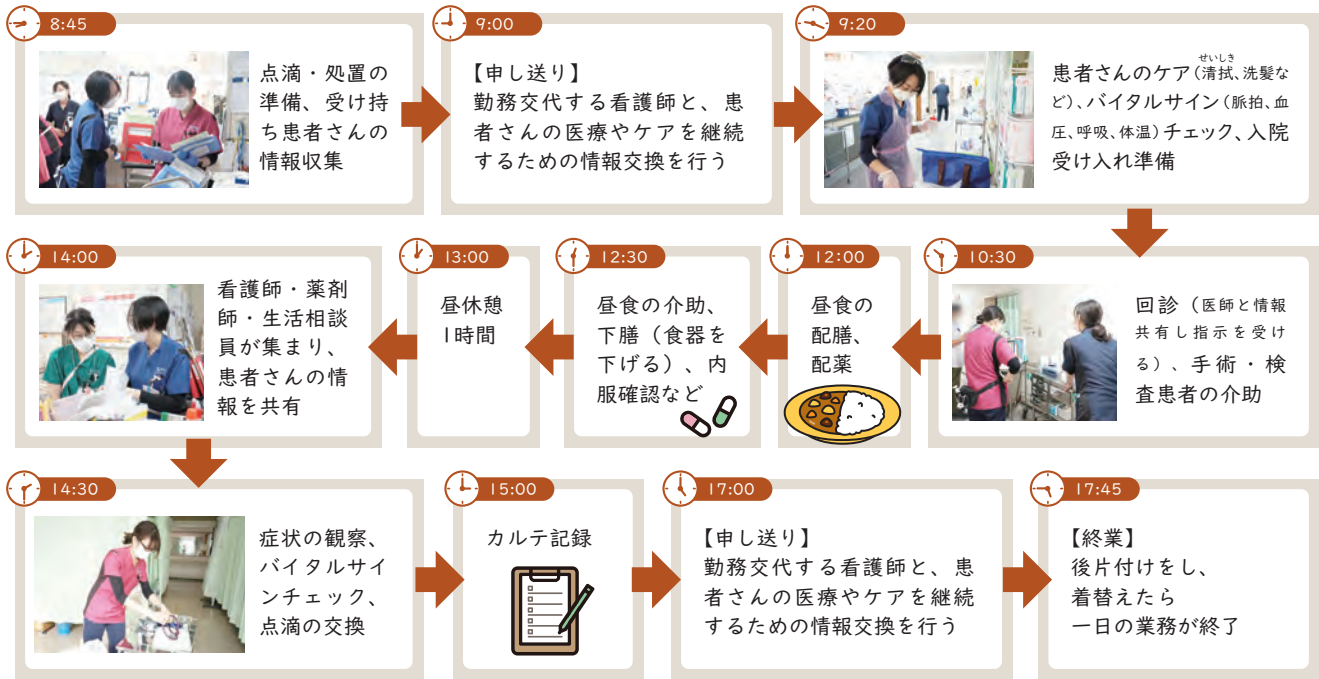


医療・介護連携ってどんなこと？

「医療・介護連携」とは、医療と介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域の関係機関が相互に連携し合い、切れ目のない医療・介護サービスを提供することです。



看護師の一日



地域密着型の医療を提供するために

2026年に最成病院は新築移転予定です。移転後は199床から220床に増床予定で、今まで以上に医療・介護の連携が強化され、地域密着型の医療提供が可能になります。

